

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第 11 号 令和 3 年 5 月 20 日

東京都産業教育振興会事務局では、年 2 回発行している会報「東京の産業と教育」とは別に、「東京の産業と教育（電子版）」を発行します。どうぞよろしくお願いいたします。

☆今日のコンテンツ—————☆

| 【1】会報電子版をスタートします

| 【2】理事会をオンラインで開催しました

| 【3】会員情報の募集について

| ☆—————☆

【1】会報電子版をスタートします —————☆

今まで A 4 判 8 頁の会報を年 2 回発行していましたが、この会報に加えて月 2 回「会報電子版」を今年度から発行することにしました。

昨年度途中から試行版を配信しておりましたが、今年度から新たにスタートとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

1 会員の最新情報を交流したい

広く会員の皆様に原稿の執筆をお願いし会報「東京の産業と教育」を発行することでの情報交流は今後も進めてゆきますが、昨今のように変化の激しい社会にあっては年 2 回の発行だけでは産業教育の情報共有がなかなかできません。

そこで、最新の情報を定期的に共有できるように「会報電子版」というメール発信という形態で発信することにしました。

会報電子版の情報の源は会員の皆様から「最新の情報提供が得られるかどうか」が全てとなります。年間を通してご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

2 都産振の特性を生かした交流をしたい

産業界と異なる学校種の学校、他の団体ではあまり見ない都産振ゆえの特徴です。しかし、今のようなコロナ禍では総会をはじめとしてリアル開催ができない状況が続き、その特徴を生かしきれいていません。交流不足を少しでも改善できるよう情報の発信をお願いします。

3 都産振も D X の流れを受け情報交流を進めたい

D X（デジタルトランスフォーメーション）というわりには以前からある技術ですが、紙媒体を多く利用してきた都産振事務局にとっては、革新的なデジタル化です。

会報電子版の具体は、会員ホームページ等の発信情報を紹介し、会員ホームページにつなげるといふものです。会員の情報発信を都産振のネットワークで増幅しようといふものです。

原稿を新たに執筆してもらうなどの時間や手間が省けるので、新たな負担をかけずに情報の交流ができます。情報が多くなっても会員ホームページへのリンクがつながるだけで、メールボックス等への負担も少なく済みます。

【2】理事会をオンラインで開催しました ☆



5月18日(火)に「Webex」を活用してオンライン会議が行われました。都庁内の特設会場には金子副会長他事務局が集まり会議を進行しました。

「コロナ禍で人とのふれあいの大切さを感じるが、同時に社会のために働く多くの仕事・人材のことについても考えることが多くなった。産業教育の重要性がますます高まってきた。」との西澤会長からの開会あいさつから始まりました。

理事会は報告が3件、議事が7件の内容でしたが、画面上に承認の意思を示す拍手のメッセージが表示されるなどのオンライン会議システムの操作を確認しつつ、予定どおりすすめることができました。

【3】会員情報の募集について ☆

記載したとおり、会員情報を募集しております。発信情報をお持ちの会員の皆様は、下記担当まで御連絡ください。

現時点では、月2回程度の配信を予定しております。

【お願い】

この「東京の産業と教育(電子版)」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会会員やその他産業教育に携わる皆様のお役に立てるならば、全文の転送を前提として共有していただいてもかまいません。

会員校の校内、会員企業の社内、ぜひ情報共有して下さるようお願いいたします。

また、この電子版を直接受信していない会員の方で、電子版の送信を希望される方がいらっしゃれば、事務局までご連絡ください。



東京都産業教育振興会 事務局
東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247
E-mail: Osamu_Namiki@member.metro.tokyo.jp
